

ごみ収集モデル地区を巡回



四月十一日(水)と十三日
(木)の早朝、市の四役(市長、助役、収入役、教育長)が、ごみ収集モデル地区内のごみステーションを巡回しました。両日ともごみは指定袋に入れられ、キチンとごみ袋に分別され、資源として再利用されました。地元の廃棄物減量等推進員は、「指定袋になつてからにおいやごみの散乱がなくなり、町内がきれいになつた」と話していました。

お買物、ご用命は市内で

見やすいところに保存して下さい 便利です

住まいの不便・不安・不満を解消

応援します

ちょっと手を入れてより快適生活を!!

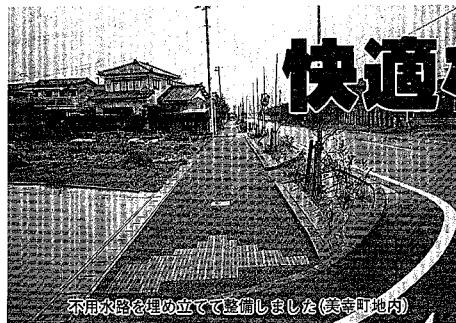
増改築のさとう

快適住宅リフォーム専門店

TOTO

トイレ 内装模様替え 機器交換 サービス 見積無料

新潟市古田580-1 ☎24-4333



不用水路を埋め立てて整備しました(夷寺町地内)

40路線で下水道工事を実施

私たちの暮らしや産業、文化のために水は欠かせませんが、使われ汚れた水はどこへいくのでしょうか。下水道は汚れた水に命を与え、美しい自然を守り、快適なまちづくりのために欠くことのできない施設です。今号では、今年度の下水道工事予定箇所をお知らせします。

下水ラインも ライフライン

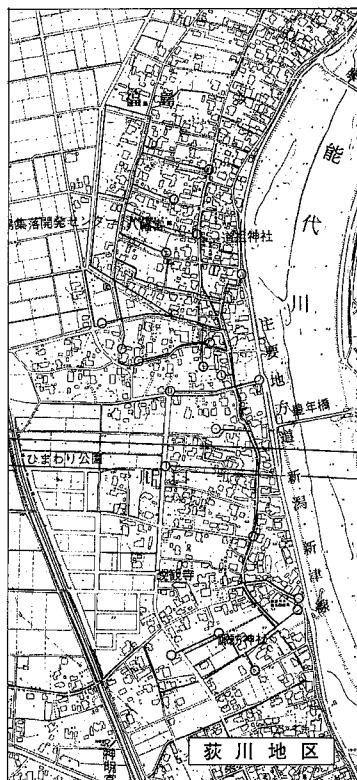
阪神・淡路大震災では、ライフラインが注目され、下水道も生活に欠かせない施設という認識が高まりました。

地震発生と同時に、電気、ガス、水道の供給が停止し、電話は不通となり、交通網も麻痺状態となりました。これらの施設は、ただちに被害の調査と復旧に取りかかりましたが、少し遅れて、下水道やごみ処理の間題がクローズアップされました。

今年度は左の図の箇所で、下水道工事を行い、污水管約十・一

キル、雨水管(側溝を含む)約三・一キロの整備を予定しています。これにより下水道普及率は約2%伸びて35%になります。市民の三人に一人以上が下水道を使えるようになります。

また、水緑景観モデル事業を継続して行い、今年度は吉岡町から中沢町(県道新津・小須戸線)までを整備します。



下水道に対する要望は年々高まっていきます。自分たちの町内も早く下水道の整備をして欲しいという要望にこだわるために、市は毎年巨費を投じて下水道を建設しています。昨年度は約百億、三百三十世帯が下水道を使えるようになりました。

皆さんのご理解とご協力をお願いします。

規制にご協力を 工事期間中の交通

下水道工事の前に、支障となる水道管やガス管、電柱などの移設工事が行われますので、一時的に断水や停電などがあります。また、工事期間中は車両通行止めなどの交通規制が行われます。

お庭の害虫防除作業承ります

毎月1回の定期的防除で1回の料金一律3,300円です。(11月まで)
300m以上のお庭は別料金とさせて頂きます。

(有)グリーンサービス
下新 0250-23-5770

